

2020 年 9 月 25 日

バスツアー但馬高原植物園自然観察会のご案内

観察委員会

空の青さが高く感じられ、スポーツの秋、読書の秋、観察の秋、自然と文化科の秋がやってきました。今年度、恐らく最初で最後のバスツアーです。日本海側は、同じ種類の植物でも少し葉が大きいなあとか印象が違うなあということを感じられることが多々あるでしょう。目的地の但馬高原植物園と猿尾滝での植生はどう違うのか楽しみです。

そこで、テーマは、『日本海に近い植生を感じとろう』としました。

新型コロナウイルス感染予防のため、1 班 1 台の大型バスを使用します。乗車場所も 2 つに分けています。88 観光さんにも感染予防にご協力を頂いております。バス内では、お話される場合はマスクを必ず着用ください。野外での観察時も、ソーシャルディスタンスがとれない場合は、原則マスク着用ください。また、基本活動単位は、班です。協力し合って快い活動にしていきたいと思います。

尚、当日の朝、体調がすぐれない、体温が高い場合などは無理をせず参加を見合わせて下さい。

記

集合 10 月 2 日（金）7 時 50 分集合（場所の地図は、別途添付）

1 班と 2 班：西梅田 ダイワハウス前

3 班と 4 班：西梅田 ダイビル前又は、明治安田生命ビル前の混んでない方

※雨天決行。ただし当日朝、兵庫県南部又は北部に、警報発令時、中止または延期

（ちなみに、警報は、大雨か洪水か暴風のいずれかが出た場合）

持ち物 弁当・飲み物・観察用具・雨具

服装 ハイキングスタイル・トレッキングシューズ

行程 1 班（1 号車）と 2 班（2 号車）

西梅田（8 時出発）＝10 時 30 分但馬高原植物園（昼食）＝猿尾滝＝西梅田（18 時頃着予定）

3 班（3 号車）と 4 班（4 号車）

西梅田（8 時出発）＝10 時 30 分猿尾滝＝但馬高原植物園（昼食）＝西梅田（18 時頃着予定）

（どちらもバス行程で、行きは 1 回、帰りは 2 回のトイレ休憩予定）

※雨天時も、同じ行程を予定している

注意事項

- ・但馬高原植物園では、最初、班に 1 人のガイドがつく予定です。人数が多いので、お互い説明の聞きとりやすい配慮をお願いします。



カリガネソウ



アカバナ



アケボノソウ

日本海側気候帯の自然（但馬高原植物園他）の案内

兵庫県立「但馬高原植物園」

氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され、兵庫県観光百選の第1位にも選ばれた標高680mにある湧水の湿原・瀬川平に1997年6月15日に設立された。

自然保護をテーマとする自然植物園で、面積17haのうち10haは自然林の植生をそのまま保護し、残り7haは自然を可能な限り生かしつつ整備している。南方の植物の北限、北方の植物の南限、高山植物の低限、低地植物の高限にあたり、日量5,000tの湧水により湿原が形成されているため植生は極めて豊かであり、自生植物は2,000種類を超える。園内に「和池のオオカツラ」園内マップ、10月上旬に見られる花リストは下に記載。

兵庫県立「木の殿堂」

木の殿堂は、香美町・瀬川平（とろかわだいら）の緑豊かな地に、日本の自然と文化の象徴ともいえる「森と海と太陽」をテーマとして建設された、日本文化の原点である森や木のすばらしさをさまざまな視点でとらえ紹介する自然学習施設です。瀬川平の森林の中に膨大な杉と杉集成材を使用して建設された。アップダウンする順路に沿って館内の展示室を立体的に巡るようになっている。木の香に包まれた天井高16mの館内では世界の木製民家模型や木製民具などが展示され、木から生まれた様々な文化が紹介されている。工作室ではトールペイント教室や組み木教室などが定期的に行われている。建物は木の柱と梁で構成されているが直径46m円筒形で、同心円上に直径22mの吹き抜けがあり、その底部に大きな池が配置されるという、ダイナミックな構造になっている。森の生命力を感じさせるこの建物が「木の殿堂」の理念を最も反映する展示物となっている。

設計は安藤忠雄氏。1994年、第45回植樹祭開催地。



猿尾滝

昭和43年3月29日 県指定文化財 名勝。

平成2年4月28日 全国の滝百選に認定。

滝の景観が猿の尾に似ていることから猿尾滝と名付けられました。

滝は二段に形成されており、

上段の滝（雄滝）は水がゴツゴツした岩肌を流れ落ち、荒々しく男性的に直下する瀑布であり、

下段の滝（雌滝）は水が岩の割れ目を滑るように流れ落ち、流麗で女性的な滝です。

植生：ブナ、ミヤマハハソ(アワブキ科)、フサザクラ(フサザクラ科)、オオバアサガラ(エゴノキ科)



上段の瀧(左)と下段の瀧(上)

香美町・村岡地区・周辺の案内図



但馬高原植物園・園内マップ



Navigation

- 10月上旬に見られる花（同園案内書より）
- ツリフネソウ、ミズヒキ、フシグロセンノウ、ゲンノショウコ、ヤマハッカ、オタカラコウ、ニオエンギク、
- ワレモコウ、アキノキリンソウ、サラシナショウマ、アケボノソウ、シュウメイギク、ミゾソバ、ハマギク、
- ヤクシソウ、ヨメナ、リンドウ、センブリ、ススキ、キチジョウソウ